



葉ざくら

新しい仲間 11 名が入学 おめでとう！ 平成 25 年 4 月号 題字 3 年渡邊 建典



4 月 8 日の午後、清水分校体育館で入学式が行われました。入学生は男子 4 名、女子 7 名の 11 名です。今年は桜が間にあわず残念でしたが、新入生は盛大な拍手で会場に迎えられました。

清水博行校長の「高校時代は一人ひとりが大人になるための覚悟を決める段階である。物事の考え方や何を大事にするか等、自分のポリシーを見出していく時期である。」というメッセージと、大分県出身の社会教育家・後藤静香の詩集を紹介し、「一人ひとりが、生き方・在り方を深めてほしい。生き方の旗印つまり、私はこれがために生まれたんだという、幟をたてられるようになってほしい。そのために、今日一日をどう生きるのかと自問自答し、この一日をこう過ごすのだという意識を持つ。その意識の差が、最終的に勝敗や結果を決める事になるのだ。」との心にしみるお話がありました。引き続き嶋田卓幸八幡中学校長、澤田利彦育友会長よりご祝辞をいただきました。新入生のみなさん、この学校で自分の将来を確かなものとするために、共に希望を語り合いましょう。入学生代表の東智華さんが宣誓をし、新入生の高垣由里さんが答辞を読んで式は終わりました。

はこれがために生まれたんだという、幟をたてられるようになってほしい。そのために、今日一日をどう生きるのかと自問自答し、この一日をこう過ごすのだという意識を持つ。その意識の差が、最終的に勝敗や結果を決める事になるのだ。」との心にしみるお話がありました。引き続き嶋田卓幸八幡中学校長、澤田利彦育友会長よりご祝辞をいただきました。新入生のみなさん、この学校で自分の将来を確かなものとするために、共に希望を語り合いましょう。入学生代表の東智華さんが宣誓をし、新入生の高垣由里さんが答辞を読んで式は終わりました。

新入生の感想

「高校に入ったら、クラブを中心にがんばっていききたいと思います。まだ、どんなクラブがあるかよく知らないけど、面白かったらいいと思います。高校生としてしっかり責任を背負っていききたいです。」(池田 誠)

「入学しても不安はたくさんあり、まだ高校生になったという実感がありません。中学校に比べ勉強も難しくなり、責任も重くなると思います。言葉使いを正しくし、規則を守って行動しようと思います。友達と仲良く、楽しく、高校生らしく三年間過ごしていきたいと思います。」(高垣 由里)

3 月人事異動 “別れと出会い”

4 月 5 日 (金)、離任式が行われ石井麻友先生が転出されました。先生から「自分から発する言葉の大切さ、重みについてよく考えて下さい」とお別れのご挨拶をいただきました。石井先生は母校の保田中学校へ赴任されました。

4 月 8 日 (月)、着任式が行われ、太田真輔先生 (南紀高校周参見分校より) から「学校生活を楽しみながら、一緒に勉強にクラブ活動に取り組んでいきましょう」との熱いメッセージが送られました。

クラブ紹介・活動開始

4 月 22 日 (月)

新たな学期がスタートしました。清水分校では少人数のため、全員入部が原則です。運動クラブは、ソフトテニス部・剣道部です。文化クラブは、自然部・家庭部があり、軽音楽同好会も発足しました。それぞれに新入部員を迎え、毎日元気いっぱい活動しています。

☆ 5 月の行事予定

5/2 (水) 新入生歓迎球技大会	5/14 (火) 育友会総会	5/17 (金) 前期生徒会役員改選
5/15 (水) ～ 17 (金) 中間考査	5/22 (水) 森林ウォーク (1 年)	



